

製品名: リン酸化 BRAF (Thr401) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01548**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.11mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 84 kDa; Observed MW: 84 kDa

抗原情報

遺伝子名	BRAF
別名	BRAF; BRAF1; RAFB1; Serine/threonine-protein kinase B-raf; Proto-oncogene B-Raf; p94; v-Raf murine sarcoma viral oncogene homolog B1
遺伝子 ID	673
SwissProt ID	P15056
免疫原	ヒト B Raf の Thr401 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

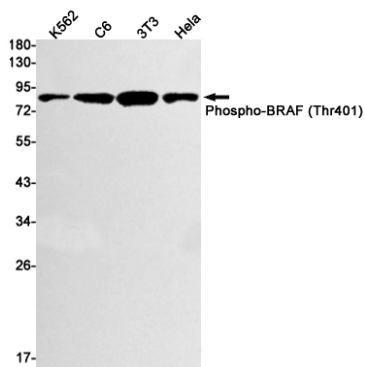
背景

細胞膜から核への分裂促進シグナルの伝達に関与する。海馬ニューロンのシナプス後応答に関与する可能性がある。甲状腺がん、皮膚メラノーマで頻繁に変異し、ヒトの様々ながんでも低頻度で変異が認められる。活性化ループのリン酸化を模倣する活性化変異は、悪性黒色腫検体の60%に認められる。Raf変異は、一般的にRas活性化変異のみに認められる。

研究分野

細胞生物学

画像データ



Phospho-BRAF (Thr401) 抗体を使用した、K562、C6、3T3、Hela 溶解物中の Phospho-BRAF (Thr401) のウエスタンブロット分析。